



南あわじ市

令和元年7月31日発行

ぎかいだより

第62号



特集 淡路三原高校生と 意見交換会を開催 P.2

南あわじ市議会
ホームページ



スマホで議会だよりを
ご覧いただけます。

マチイロ



<https://www.city.minamiawaji.hyogo.jp/site/gikai/>

主な内容

- 意見交換会……………P2～5
- 第84回定例会の結果……………P6～8
- 一般質問……………P9～14
- 第83回臨時会の結果……………P16～17
- 委員会調査レポート……………P18～19

原口議員…企業誘致に対して固定資産税の減免制度はあります。市内で起業し、人が新しく雇える体制ができればいいと思います。



久米議員…いい質問だと思います。市長は、企業誘致の際には従業員も連れてきて欲しい考えもあり、企業厳選もしています。我々としては、地元採用を優先してもらえ、企業にも来て欲しいですが、まだまだ議論が必要です。砂川君のような意見もあるということとは伝えていきます。



砂川くん…淡路は職場が少ないので若者が帰ってこない。もっと企業支援をしたり、固定資産税を減らしたら、企業も来てくれるかなと思います。



■仕事場が少ない。もっと企業支援をできないの？

久米議員…ネックは、高速道路代です。企業は固定費を抑えたいので、なるべく近くの立地を選択します。



砂川くん…なかなか僕が思っていたよりも考えられているんだなと思いました。ちなみに、企業団地の場所は輸送とかの面を考えると、海側の方がいいのではないのかなと思います。



労働力不足を解消し、人口減少に歯止めを

谷口議員…今、全国的に人口減少傾向にあるわけですね。それによる労働力不足は淡路島全体の課題。大手企業がきてくれたらえけど、流通やコスト面で厳しいところがある。何かええ意見あったら言うてください。



淡路三原高校 × 南あわじ市議会

市議会議員と高校生が南あわじ市の未来を語り合う

6月20日に淡路三原高校生と南あわじ市議会（議会広報広聴常任委員会）が意見交換会を開催しました。それぞれ率直な意見交換となりました。

市議会

高校生

■イングラントの丘はなぜ市民無料になったの？

太田議員…それでは意見交換を始めます。最初に聞きたい方、手を挙げてください。



榎本さん…どうして、イングラントの丘は入場無料になったんですか？



谷口議員…1月臨時会で消費税の増税による入場料の値上げの議案が出ました。我々議会として、値上げはするが、市民の方が利用しやすいようにと執行部を説得して、南あわじ市民に限り無料にしたということです。喜んでいただけたでしょうか？



榎本さん…はい。



北条議員…補足すると、市民を証明するには、マイナンバーカードやコロナカード、学生証でも大丈夫です。市民は全員無料なので、みんなで行っていただければと思います。



太田議員…池澤君、住んでるの八木なんだよね。今日帰りに寄ってみる？

池澤くん…寄ります。



森本さん…福良の花火大会がなくなったら、観光客も減るし、今年も花火をあげた方がいいんじゃないかな。



■福良の花火はなぜなくなつたの？

もしますので、もっと要望してください。福良、やめたら嫌ということだー。よっしゃ言うところ。

谷口議員…あのね、南あわじ市は4つの市民まつりに1000万円を計上していました。これから市長は、行政が関与しない市民主役のイベントがしたいんですよ。今、僕らもやかましいに言うて、福良の花火大会も話し合いをしながら、にぎわいを取り戻したいと頑張っています。あなたの方の意見を十分にくみ取り、福良で日本一の花火のあげるといふ案の提案



太田議員…昨年度で慶野松原花火大会は約700万円。市の補助が250万円、残りの450万円は地域や企業の支援でした。福良湾海上花火大会は約1200万円。つまり2大会合計4時間で約2000万円がドーン。以上です。

太田議員…花火大会のそういった見えない側面も理解する必要があります。はあると思います。



島内の交通網をもっと便利に



川島さん…最近、日本中で高齢者の方の運転による事故が増えていと思うんですけど、淡路島で免許返納すると買い物な

■今の公共交通は不便じゃない？

ど日常生活が不便になってしまふ。淡路は交通の便が悪いなと思



吉田議員…地元の人でも観光客も不便なので、淡路島全体で交通網をどうするかという会を立ち上げて、検討に入った段階なんです。それと、高齢者が免許証を返納した場合、らん・らんバスが1年間無料で乗り放題になる特典をつけて免許証の返納を促しているんですが、らん・らんバスの利便性をどう高めるかが課題と思っています。らん・らんバスで通学している人はいますか？



原口議員…灘と沼島は、民間による白タクのサービスが始まっています。注文を聞いて、その人の玄関から運行するというデマンド方式というやり方もあって、私はその方がいいのではと思っています。



土井議員…全国的に高齢者の運転による事故が発生しています。免許証の返納や、自動車メーカーも安全装置がついた車を開発するなど、国を挙げての対策が必要だと思います。



川島さん…雨の日に親が仕事で送迎できないときにバスを利用します。



吉田議員…高校生は正義感があるいい時代。色々な人たちと触れ合って、色々な経験を積み重ねていただきたいと思っています。



小林さん…私は、去年行ってきた。大川小学校のまわりはきれいだったですが、何もなく遊具もブランコだけでした。震災から何年も経っているのに、完全に元どおりにはなっていないかったです。地震はいつ起こるか分からないので、家族や周りの人とのつながりを大事にしたいと思っています。



人との絆・つながりを大切に



刑部くん…地域との交流の場で、地震の体験談を聞いて、もし南海トラフ地震がきたとき、どう行動を



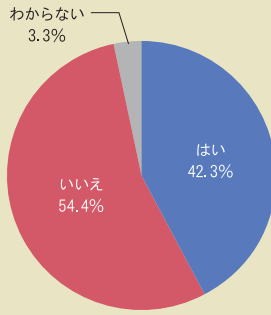
吉田議員…東北の被災地でどういう活動をしたのですか？

■東日本大震災の被災地へ行ってどうだった？



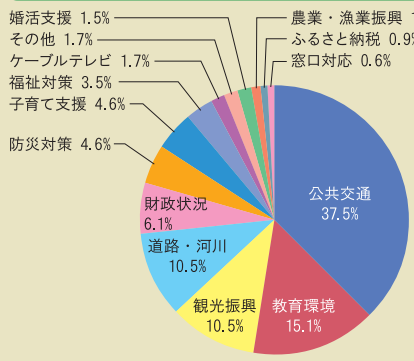
白瀬さん…淡路人形浄瑠璃の公演をしました。それと、被災者の人との交流会もあって、1対1で話をしました。私が話した人はお兄さんを亡くされていて、ニュースとは違う、実際に体験した人の話を生で聴けたことで感じるものもありました。すごい東北に行けて良かったなと思っています。

将来は淡路島で住みたいですか？



- 【はいの理由】
 - ・淡路島が好きだから
 - ・実家があるから
 - ・環境がいいから
 - ・食べ物おいしいから
 - ・もっと発展させたいから
- 【いいえの理由】
 - ・就職先が少ないから
 - ・交通などが不便だから
 - ・都会で暮らしたいから
 - ・あまり店がないから
 - ・もっと幅広くさまざまな人と話したいから

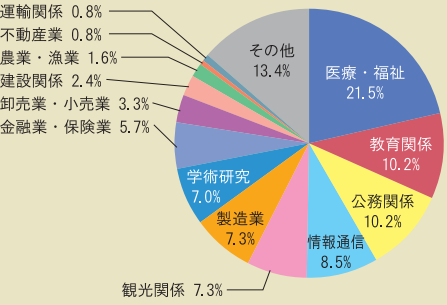
南あわじ市で不十分なサービスは？



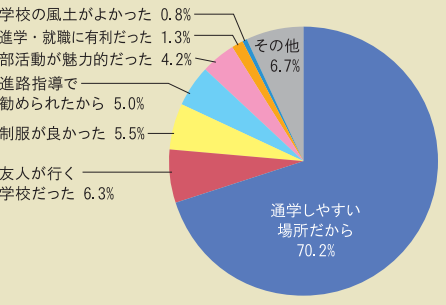
- 【公共交通】
 - ・バスが少ない。高くて不便。
 - ・車がなければ生活できない。
 - ・島外へ行きにくい。
 - ・もっと使いやすいように工夫がある。
- 【教育環境】
 - ・エアコンの環境が不十分。
 - ・学校が少ない。
 - ・校舎が汚い、古い。
 - ・若者に向けて使っているお金が少なく感じる。

淡路三原高校3年生の「ホンネ」アンケート

将来はどんな分野に就職したいですか？



淡路三原高校に進学した理由は？



意見交換会を終えて

高校生の皆さんには、私達とは違った視点で良い意見をいただき、意義のある意見交換会となりました。また、政治への関心を深めていただく機会にもなったと思います。今回の意見を議会活動に反映しながら、今後も広報広聴活動を通じて、幅広い世代の意見も聴いていきたいです。

議案審査で
こんな議論をしました

松帆銅鐸PR費用の追加など

令和元年度一般会計補正予算(第2号)

■議案内容

歳入歳出に、それぞれ500万2千5百円を追加。

■主な質疑

歳出

埋蔵文化財費

1460万円を追加

追加の理由は、

松帆銅鐸のPR費用であり、主なものとして、横断幕の作成、ホームページの改修、バーチャルリアリティの更新、解説のタッチパネルの設置等。

バーチャルリアリティを玉青館に設置してあるが、利用状況は。

4月27日より設置して



▲松帆銅鐸のバーチャルリアリティが設置されている玉青館

いるが、利用者は少なく、4月が13人、5月が23人で合計40人である。

地域再生協働員

報償費 172万

8000円の追加

地域再生協働員とは。

県内で小規模集落の活動を応援する人を協働員として任命する、県独自の事

業である。本市においては1名分、年間280万円を計上した。

退任後の地域おこし協力隊を中心に選任していくとのことであるが、市内在住者から選任できるのか。

県内在住者であれば選任できる。本市としては、地域おこし協力隊を退任後、地元に残る割合が全国平均より低いため、今回は退任する方を対象にこの制度を充当し、定着率を上げていきたい。

議決結果

賛成多数で原案可決



▲美菜恋来屋での地域おこし協力隊の活動の様子

単身児童扶養者を 住民税非課税の対象へ

市税条例等の一部改正

■議案内容

個人の住民税について、単身児童扶養者を非課税の対象に加える。また、軽自動車税について、グリーン化特例における税率の軽減を見直す。

■主な質疑

単身児童扶養者とは何か。

児童扶養手当の給付を受けている、未婚のひとり親のことである。

どのような改正で対象者は何人いるのか。

単身児童扶養者を住民税非課税の対象に加える改正であり、4月末現在で、対象者は34人である。

軽自動車税について改正の内容は。

軽自動車税の軽減制度



議決結果

賛成多数で原案可決

国民健康保険税の税率を改正

国民健康保険税条例の一部改正

■議案内容

国民健康保険の所得割と資産割の税率を改正する。また、課税限度額を引き上げ、軽減対象者を拡充する。

■主な質疑

基礎課税限度額が58万円から61万円に引き上げられているが、これにより国民健康保険税はどの程度の増額になるのか。

法定軽減対象者も拡充されており、それを加味して計算すると被保険者一人あたり、3600円程度の増額になる。

討論

反対 吉田良子 議員

討論要旨

税率の改正でモデルケースでは約4千円の引き上げで、他の医療保険に比べて



▲市役所1階税務課の受付窓口

■議案内容

現在実施している低所得者の介護保険料の軽減について、消費税率の引上げに合わせて、更に軽減を強化する。

■主な質疑

消費税率の引き上げによる財源を介護保険料に手当てし、介護保険料を軽減する改正か。

その通りである。

介護保険料が軽減になる対象者は何人程度おり、全体における割合はどの程度か。

介護保険料第1段階、第2段階、第3段階の方が対象で、仮算定では対象者数は5495人、割合は34%である。

議決結果

賛成多数で原案可決



議場で“海ほたる”のプレゼンテーション

定例会最終日(6/27)の本会議開会前に、議場の多目的利用の一環として、海ほたるのプレゼンテーションが行われました。

三原志知市民交流センター長の関口功氏より、海ほたるをグラスの中などで光らせる実演や、海ほたるが環境の浄化に寄与すること等が紹介されました。

暗闇で美しく光る海ほたるにより、議場は幻想的な雰囲気になりました。



▲関口功氏によるプレゼンテーション



▲青く光る海ほたる

人事案件

[敬称略]

■人権擁護委員候補者の推薦

適任 関口 貞子(志知)
前川 和也(榎列)

任期 令和元年10月1日～令和4年9月30日

■福良財産区管理会委員の選任

同意 守本 昭治・林 陽一郎・岬 泰生
前田 弓弦・澤田 均・川添 眞吾
太田 好昭

任期 令和元年7月29日～令和5年7月28日

■北阿万財産区管理会委員の選任

同意 林 拓司・中川 健・金生 光弘
上村 邦弘・山口 恭弘・松井 壽人
西山 五三

任期 令和元年6月12日～令和5年6月11日

市政を問う ～より良い南あわじへ～

スマートフォン等で各議員のQRコードを読み取ると、一般質問の録画映像をご覧ください。



議員名	質問内容	ページ	議員名	質問内容	ページ
太田 康文	●西淡・三原志知小学校合併 (公共交通 河川浚渫、伐採工事)	9	木場 徹	●県有地の利活用 ●空き家対策 ●農漁業の新規振興策	12
蛭子 智彦	●防犯カメラの設置 ●庁舎跡地利用 ●小中学校の夏季休暇 ●農業振興	10	北条志津子	●防災、災害対策 ●道路整備 ●観光振興施策	13
吉田 良子	●高齢者、障害者支援 ●子育て、教育支援	10	久米 啓右	●農業の現状と課題 (農地の管理)	13
谷口 博文	●慶野松原整備計画 (ふるさと納税) ●高齢者等元気活躍推進事業	11	熊田 司	●観光 ●福祉 (防災)	14
印部 久信	●ふるさと納税	11	長船 吉博	●市の繁栄策 ●企業誘致 ●ごみの減量化 ●海洋環境	14
土井 巧	●ほ場整備 ●登下校中の安全確保 (再生可能エネルギーの普及)	12			

()書きの質問については、掲載しておりませんが、録画映像ではご覧いただけます。

旧優生保護法により強制不妊手術を受けた
当事者に対する補償等及び障害者福祉サ
ビスの向上を求める

請願書

請願は採択され、国に意見書を送付

主な請願内容

国の関係機関に、①被害者の救済に最大限取り組み、②障害者に配慮した高齢者施設の整備を緊急の課題として進めること、③障害者支援程度区分認定調査も取り入れた要介護認定とするよう配慮すること、の意見書を提出すること。

請願者

淡路聴力障害者協会
会長 齊藤 勇
廣内孝次議員

紹介議員

主な質疑

問 旧優生保護法の救済法がすでに成立しているが、それについてはどう思われているか。
答 ありがたいと感じている。ただ、一時金が低額であり、支給されない方もいる。苦しんできた方が報われるような救済法にしてほしい。

意見書

産業厚生常任委員会の発委

主な意見書内容

①被害者の救済に最大限取り組むこと。
②障害者に配慮した高齢者施設の整備を緊急の課題として進めること。
③障害者支援程度区分認定調査も取り入れて要介護認定とするよう配慮すること。

意見書提出先

内閣総理大臣、内閣官房長官、厚生労働大臣など



議決結果一覧

■全議員賛成の議案

提出者	議 案 名	議決結果
市長	令和元年度一般会計補正予算(第2号)	原案可決
市長	令和元年度介護保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決
市長	市立学校設置条例の一部改正	原案可決
市長	市税条例等の一部改正	原案可決
市長	災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正	原案可決
市長	介護保険条例の一部改正	原案可決
市長	字の区域の変更 (中条中筋、倭文長田地区)	原案可決

■賛否の分かれた議案

提出者	議 案 名	議決結果	各議員の賛否													
			中村三千雄	阿部計一	登里伸一	北村利夫	印部久信	長船吉博	吉田良子	廣内孝次	木場徹	小島一	久米啓右	北条志津子	谷口博文	土井巧
市長	国民健康保険税条例の一部改正	原案可決	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
請願	旧優生保護法により強制不妊手術を受けた当事者に対する補償等及び障害者福祉サービスの向上を求める請願書	採択	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
産業厚生常任委員会	旧優生保護法により強制不妊手術を受けた当事者に対する補償等及び障害者福祉サービスの向上を求める意見書	原案可決	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議長は表決に加わらない。(○は賛成、×は反対)

ゆづるはクラブ

太田 康文 議員

来春合併予定の
西淡・三原志知小学校の計画は



答 志知地区学校統合本部会議を設置、四作業部会(教育課程・生活・施設設備・PTA)を置き、3

カ月毎に進捗状況を確認し進める。
問 新志知小学校舎の大規模改修はどう進めるのか。
答 来年度国庫補助事業に採択されれば、夏休みに内部、それ以外で外部工事を実施予定。

問 昭和60年建設以降、大規模改修がされておらず老朽化が著しい。校舎壁面や天井、体育館裏通路の雨漏、プールサイド老朽化。最低限の基準をクリアしてな

い、検討を願う。特別支援教室が無いことやバリアフリー対策についてはどうか。
答 大規模改修の設計業務に組み込まれるものを精査し進める。
問 西淡・三原志知で人気の「放課後子ども教室」。当然合併後は、放課後も共に学ぶ姿は地域住民全員が望むあるべき姿、今後をどう考えるか。

答 本来合併した校内、あるいは近隣で実施するのが一番だが、スペースがない。当面は分かれて実施予定。今後、スペースが

新たな志知小学校舎の改修工事について。



- 1、老朽化対策
- 2、特別支援対策
- 3、放課後子ども教室

▲志知地区学校統合本部会議の中で大規模改修を計画している新志知小学校舎

確保できれば校内でやるのがベスト。
問 他校では学童保育のために校内にプレハブを建設した例もある、検討を願う。
各閉校式の予算は
答 今年度予算には計上されていない。今後補正予算等の検討もしていきたい。
問 三原志知小学校は146年の歴史に幕を閉じる。予算がないはあつてはならない。

日本共産党南あわじ市議員
蛭子 智彦 議員



防犯カメラをもっと増やすべき

問 防犯カメラの設置状況は。

答 警察は防犯対策上カメラの設置状況は公表できないとの考え。

問 それは逆と思う。設置推進事業を行っていると思うが。

答 補助事業により平成27年度から4年間で36基設置している。

問 まだまだ少ない。防犯上、施策に反映していただきたい。

三原庁舎跡地の有効活用をしっかりと進めるべき

問 跡地の中でも三原庁舎跡地は、宅地分譲などの活用もできるのではないかと。

答 地域から公民館や周辺道路の整備などの要望もある、慎重に検討したい。

問 宅地分譲というのも一つの手法と思う。深く検討していただきたい。

小中学校の夏季休暇の短縮について

問 学習指導要領の改訂により、学ぶべき内容が増えている。読み書き、計算等の基礎学力習得で遅れが

出ているのではないかと。

答 少しそうした傾向が出てると認識している。

問 学習塾に頼っているのではないかと。学習塾に通う子どもはどれくらいか。

答 そうした問題もあると思うが、数字は把握していない。

問 基準学力習熟等のために夏期休暇短縮なども保護者と対話するべき。

答 基礎学力という課題について、学校での議論を大切にしながら推進していきたい。

農業所得の向上対策の質問では、現状分析を行い軟弱野菜の産地化も検討したいとの答弁があった。



誠道クラブ

谷口 博文 議員



慶野松原の整備計画は

問 東京オリンピックの聖火リレー中継地並びにワールドマスタースターズゲームイン関西のビーチバレー大会の開催地である慶野松原の整備並びに西淡三原インターから慶野松原までの県道拡幅工事計画は。

答 慶野松原の保全には、3652万2千円の予算を計上しており、そのうち1400万円かけて遊歩道、社協センターから松原荘までの間に夜間の照明をつけ、慶野松原管理棟から慶野観光まで約1kmの部分補修をしたい。

令和2年度に瓦部材の修繕と情報発信モニタメントの新設、



▲日本の夕陽百選にも選ばれている慶野松原の夕陽

プロポーザド瓦、ベンチ等の修繕計画、ビーチクリーナーの購入、外国人の多言語看板等の設置、駐車場整備を考えている。

主要県道福良江井岩屋線については、現在御原橋の架け替え工事、拡幅工事をしており、交差点の改良が終わった後、第2工区とし旧西淡庁舎からインターにかけての県道に着手。

高齢者等元気活躍推進事業の現状と課題は

答 平成30年10月からスタートし、現状の登録者数が192名。活動対象施設が19施設。課題は主に2つあり、1つ目は、対象施設が限られていること。これを公共的な活動にも広げていければなど。もう1つは、雇用の現場においてシルバード登録者とミスマッチが生じていること。

出ているのではないかと。少しそうした傾向が出てると認識している。

日本共産党南あわじ市議員
吉田 良子 議員



高齢者、障害者支援は充分なのか

問 特別養護老人ホームの待機者は。

答 早急に入所が必要なのは24名。

問 津井に特養ホームができたが今後も施設整備が必要ではないか。

答 次回の計画でサービスがどれだけ必要であるかをみきわめたい。

問 ケーブルテレビ使用料は高齢者、障害者らは減免制度があるが来年3月以降はどうなるのか。

答 福祉施策全体として協議している。

問 水道料金の高齢者減免制度を来年3月に終了するとのことだが、年金が減少、物価が上がる状況で

は継続すべきではないか。

答 どんな助成が適切なのかを考えていきたい。

安心して暮らす、住み続けるための認知症対策は

問 認知症の方は。調査で1849人。

答 がんばりタイムアフタースクールだけでなく取り組む。

問 市内で働く女性が増え学童保育の時間延長は。

答 指導員の拡充という課題もあり、時間延長は無理。

問 ニーズ調査でも要望がある。保護者に寄り添うべきである。



▲ひょうご防災ネットのパンフレットより

市民連合クラブ

印部 久信 議員



ふるさと納税

問 ふるさと納税の目的は。

答 故郷や地域に感謝の気持ちを伝え、納税で活性化に貢献し、税の使途を指定できる制度であるが、次第に返礼品競争となり、国は返礼品を地場産品に、割合は3割に抑えるよう法改正がされた。

問 住民税控除を10%から20%に引き上げた時期、理由は。

答 平成27年度からで、ワンストップ制度が同時に設けられ、地方への税の流れを促進する。

問 市への納税額は。28年度4億3800万円、29年度3億3000万円、30年度3億3000万円、30年度3億3000万円。

年度3億6000万円であり、分類は30年度で少子対策1億9400万円、淡路人形浄瑠璃2600万円、若人の広場900万円、福祉と教育5500万円、その他7400万円。

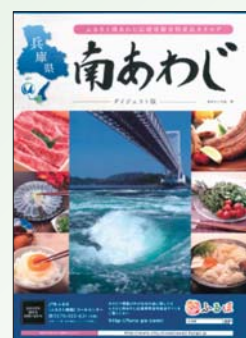
問 件数は。

答 28年度9739件、29年度7840件、30年度10333件。

問 市民の市外への納税は。

答 29年度は636件で7100万円、30年度は945件で9300万円。

問 返礼品は市の産品を販売する意味において結構なことである。



▲ふるさと南あわじ応援寄付金特産品カタログ

返礼品の品数と人気商品は。

答 約60品種500品目。30年度は3年とらふぐ7000万円、牛肉1800万円、タマネギ1400万円。

問 リピーターは。

答 30年度で25.7%。今後の取組みは。

答 返礼品については掘り起こしていく。また、産品だけでなく市を訪れてもらう商品や、思いやりの役割提供、見守券、タクシードライバー等、今後も研究していく。

市民連合クラブ

土井

巧 議員



ほ場整備事業と

コンクリート畦畔の推進

登下校中の

安全確保

問 市内でのほ場整備実施状況は。

答 現在6地区で実施しており、平成30年度末で耕地全体の51%の実施率となっている。

問 全国的にみて実施率は高いのか。

答 作付け体系（三毛作）で実施が遅れてきた歴史的な経緯がある。

問 コンクリート畦畔が補助金で実施されている割合は。

答 所有者の希望で実施し、90～95%がコンクリート畦畔化されている。

問 コンクリート畦畔工事に係る費用の負担割合は。



▲コンクリート畦畔化の推進

問 通学時に小学校全児童にヘルメットの着用を考えてはどうか。

答 各小学校の判断に任せている。市で統一してヘルメット着用を義務付けることは考えていない。

問 登下校時の安全確保をどう進めていくか。

答 喫緊の課題と考えている。警察官によるパトロール、防犯ボランティアとの地域連携見守りの依頼などを進めていく。

その他風力発電、太陽光発電普及の課題について質問した。

創世クラブ

木場

徹 議員



津井の県有地を

総合防災公園として整備を

問 淡路島の防災拠点に位置付けし、全天候型競技場にする計画を県に要望しては。

答 若干ハードルがあるが、可能性はあり得る。

問 淡路地域に計画の専門職大学の進捗は。

答 具体的な動きは無い。

問 辰美中跡地、伊加利の県有地を候補地に名乗りを挙げては。



▲三木総合防災公園の陸上競技場

いは、プロポーザル審査を検討中で、企業誘致に取り組んでいく。

空き家対策の取組みについて

問 実態調査結果は。

答 2075戸抽出調査し、第三者に危害を与える可能性のある物件が75戸あり、所有者に通知・助言・指導を行う準備中。

問 関係の自治会長からの空き家通報がある場合はどうしているか。

答 家屋調査が完了した時点で相談したい。

問 今、どこまで進んでいるか。

答 まだ指導の段階である。

玉葱のブランド化、再生産可能価格について

問 作付けの推移は。

答 平成8年は1933ha、平成30年は1314haに減少し、生産者、作付とも減少した。

問 減少の理由は。

答 高齢化、市場価格が安く再生産が難しいため。

問 新しい支援策は。

答 省力化、機械化、法人化の促進。

問 ブランド化の施策は。

答 コスト削減、生産量の確保と高付加価値を付け、売ること。

問 残渣処理の取組みは。

答 島内との連携もあわせて考えていく。

ゆづるはクラブ

北条志津子 議員



災害に備えた環境づくりが重要

問 避難所である、学校・公民館・公共施設のトイレ整備は。

答 学校については、ほとんど洋式。公民館等は、平常時に使用としては概ね整備されていると思うが一度確認をする。

問 施設内、トイレに手すりや入り口等のバリアフリー化の考えは。

答 避難所のそれらを精査し確認したい。

問 防災公園は何か



▶緊急避難場所に指定されている八木コミュニティパーク

所あるのか。

答 賀集八幡公園を防災機能の強化を図るため整備を進めている。マンホールトイレ、かまどベンチ、防災あずまや等々の防災機能を備えた公園とし整備していく。

緊急指定避難場所所は市内で61カ所指定。広場・公園を含めて17カ所。それ以外は地域の管理の公園である。

問 災害時の情報発信は。

答 ひょうご防災ネットのアプリに登録すると読み上げ機能がついている。

安全な道路整備を

問 通学路にグリー

ンベルトの敷設、カメラ・カーブミラーの設置は。

答 予算の中で年次計画をきっちり決めて実施している。

問 サイクルロードの整備は。

答 県に要望し働きかけ整備が進むよう努力していきたい。

淡路島総合観光戦略の計画とは

問 淡路島総合観光戦略の間に計画されて

いる内容は。

答 旅行会社にはアップローチをして顧客を連れてきて、発信をしてもらうという構想を進めている。

その他観光振興VRについて質問した。

創世クラブ

久米

啓右 議員



南あわじ市の農業従事者

平均年齢は65・5歳

問 農業従事者の高齢化に対する施策はあるか。

答 今年度から農家独立を支援する事業があり、子弟が独立すれば親元へ50万円を支給する。農業次世代人材投資事業等もあり、後継者の新たな育成を支援し150万円を5年間に支給する事業がある。

問 南あわじ市の農家の耕作面積は。

答 1ha未満の耕作者が全体の66%、0・5から1haが最も多い。

問 玉葱の近年の平均所得は。

答 1反当たり6000kg、20kgを1800kg



営農組合の

設立数は

問 現在43組合。

問 営農組合から法人化への補助はあるか。

答 定額で40万円の補助がある。県の法人化高度化促進事業は機械導入に3分の1以内で上限3000万円の補助がある。

法人化組織数は

問 2組合が法人化している。

問 法人化のメリットは。

答 農地の取得、賃貸ができ制度資金を受けやすい。また経営体質の向上や金融機関の信用力が高まり人材確保も比較的にしやすくなる。

平成30年度分 政務活動費実績報告

▶ ゆづるはクラブ、創世クラブ、南あわじ市公明党、おのころクラブによる合同調査



地域再生を目指した市直営施設を視察。地元の特産品を全国に発信する手法や、地方都市の活性化について学んだ。

ふるさと回帰支援センター事業を調査。棚田オーナー制度による農業体験等、参考となる事業を多く実施していた。

▶ 市民連合クラブ、誠道クラブ、日本共産党南あわじ市議団による合同調査



畜産業の現状と課題について調査。個人経営から法人経営への取り組みなど、農家の発展性について更なる検証が必要。

レンタサイクル事業を調査。しまなみ海道等の観光資源を活用し、国内外からの観光客誘致に成功している事業であった。

平成30年度 政務活動費収支状況一覧表

(単位：円)

会 派 名 (人数)	交付額	執 行 額						返納額
		調査研究費	研修費	会議費	資料購入費	事務費	計	
ゆづるはクラブ (6人)	900,000	652,221	118,292	0	0	34,274	804,787	95,213
市民連合クラブ (4人)	600,000	478,758	24,000	1,370	56,152	38,187	598,467	1,533
創世クラブ (10月まで2人、11月から3人)	362,500	265,925	15,650	0	0	87,671	369,246	0
誠道クラブ (2人)	300,000	237,870	0	0	0	0	237,870	62,130
日本共産党南あわじ市議団 (2人)	300,000	239,429	15,480	0	56,690	0	311,599	0
南あわじ市公明党 (1人)	150,000	80,698	13,036	0	32,400	4,558	130,692	19,308
おのころクラブ (1人、10月30日付解散)	150,000	80,698	9,000	0	0	0	89,698	*62,500
計	2,762,500	2,035,599	195,458	1,370	145,242	164,690	2,542,359	240,684

※交付金額は、1人あたり年間15万円(月額12,500円×12カ月) 詳細は市ホームページでも公開しています。

*残額は60,302円。返納額は11月分から3月分。

第86回 南あわじ市議会定例会日程(9月)

◆開会はすべて午前10時～

会 議 日	会 議 内 容 (予定)
第1日 8月29日(木)	1. 常任委員会調査報告 2. 平成30年度南あわじ市一般会計、特別会計等決算認定(説明、質疑、委員会付託) 3. 条例案上程(説明、質疑、委員会付託) 4. 令和元年度南あわじ市一般会計補正予算案上程(説明、質疑、委員会付託) 5. その他の案件上程(説明、質疑、委員会付託)
第2日 9月4日(木)	1. 一般質問
第3日 9月5日(木)	1. 一般質問
第4日 9月6日(金)	1. 一般質問 2. 追加議案上程(説明、質疑、委員会付託)
予備日 9月9日(月)	
第5日 9月24日(火)	1. 付託案件委員会審査報告(質疑、討論、表決) 2. 追加議案上程(説明、質疑、討論、表決)
委員会 9月18日(水)	総務文教常任委員会(付託案件の審査)
委員会 9月20日(金)	産業厚生常任委員会(付託案件の審査)

※30年度決算は、決算審査特別委員会を設置し、審査を行います。審査の日程は、決算審査特別委員会設置後、9月10日(火)・11日(水)・12日(木)・13日(金)で調整を行う予定です。

8月の委員会等開催日程

委 員 会	日 時	場 所	内 容
議 会 運 営 委 員 会	8月22日(木) 午前10時	委員会室	第86回市議会定例会について
総務文教常任委員会	8月13日(火) 午前10時	委員会室	所管事務調査
産業厚生常任委員会	8月23日(金) 午前10時	委員会室	所管事務調査
議会広報広聴常任委員会	8月19日(月) 午後1時	委員会室	今後の行事予定について
議 員 協 議 会	8月2日(金) 午前10時	議場	子ども議会リハーサル

全国市議会議長会表彰
蛭子 智彦 議員

全国市議会議長会から、永年地方自治の発展と振興に貢献されたことにより表彰されました。

■在職15年以上表彰
蛭子 智彦 議員



南あわじ市公明党

熊田

司 議員



淡路島DMOの早期設立を

問 観光協会が「観光地域づくりDMO」の候補法人に認定されたが、どのようなものか。

答 淡路が目指すのは地域連携DMOで、複数の地方公共団体にまたがる区域を一体とした観光地域としてマーケティングやマネジメントを行う。

福祉の充実を

問 30歳代の方に対する乳がん検診をある程度市が負担し、検診を受けていただく取り組みはできないか。

答 国の指針は40歳以上の方となっており、本市もそれにのりながら決めていく。

問 認知症になられた方がいて、家族からの相談があった時はどのような取り組みをするのか。

答 認知症相談センターを地域包括支援センターの中に作っている。そこには専門の相談員として、保健師あるいは社会福祉士を配置している。相談を受けたら医者にかかってもらう。治療によって少しでも病状が進まないように案内をしていく。



▲市で実施している町ぐるみ健診

福良の街は

問 どの様に考えているか。

答 悲観的になる事はない、若者中心に新しい取組みが始まっている。花火は商業的メリットが小さい交通問題もある。前向きな動きが多く出て発展可能性のある地域。

問 市長が考える市の繁栄策と目標とする理想像は。

答 地域であれ社会であれ、主役はここで生活している方。行政は裏で支える脇役である。内発的な発展を着実にし、社会変動に強い地域づくりと経済循環を高めるのが重要。また、地域にある

企業誘致は

問 昨年度の企業訪問と問い合わせは何件か。

答 20社と26件。



▲南あわじ市役所本館

問 専従職員の配置は。

答 今回のところは考えていない。

問 災害廃棄物処理体制は。

答 体制の構築は、策定している。

豊かな海づくり

問 県は二度目の放流窒素濃度の下限基準を決めたが、栄養塩は。

答 結果は難しく、市は河川浚渫土を漁場整備の覆砂工事に利用し栄養塩対策にできないかと県と相談中。

問 今後、福良の繁栄は漁業。観光産業をうまく融合していけば、まだまだ大丈夫だと思っている。

市民連合クラブ

長船

吉博 議員





の対象と認められるためには、ふるさと納税の返礼品が寄付金額の30%以下であり、地元で生産された物品等でないといけない。

■議決結果
賛成多数で原案可決

議決結果一覧

(全議員賛成)

提出者	議案名	議決結果
市長	税条例等の一部改正の専決処分の承認	承認
市長	平成31年度一般会計補正予算(第1号)	原案可決
市長	税条例の一部改正	原案可決



▲市外在住者へのふるさと納税返礼品の一例

その他の議会活動報告

平成31年4月～令和元年5月

■第2回南あわじ市・洲本市小中学校組合臨時会〈4月11日〉

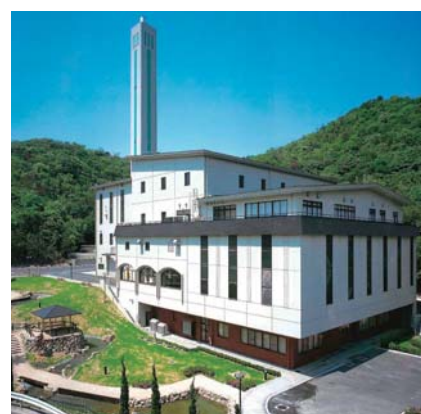
監査委員の任命に同意

南あわじ市・洲本市小中学校組合議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の全部を改正する条例を原案通り可決。
また、監査委員に近藤昭文議員(洲本市)の任命に同意。

■第2回洲本市・南あわじ市衛生事務組合臨時会〈5月29日〉

燃えるゴミの持込手数料を値上げ

平成31年度一般会計暫定予算の専決処分の承認、手数料条例の一部を改正する条例制定で、10kgにつき100円を130円に改正。ただし、令和元年10月1日から令和3年3月31日までは激変緩和措置のため115円。令和3年4月1日からは130円。令和元年度一般会計予算を可決。



▲やまなみ苑



第83回南あわじ市議会臨時会 平成31年4月17日～4月19日

平成31年度 一般会計補正予算など
議案3件を審査

沼島小学校非常用電源設備 設置事業費の追加

平成31年度一般会計補正予算(第1号)

■議案内容
歳入歳出に、それぞれ3030万円を追加。

■主な質疑

問 沼島全体への電源は失われているが、沼島小学校への電源供給ができないという場合に対応するための非常用発電機なのか。

答 非常時における学校での必要最低限の電力を確保するための設備である。

問 沼島小学校に設置する非常用発電機の能力は。

答 電力が8・3キロワットである。

問 避難所である沼島小学校の電力に見合ったものになっているのか。

答 非常用発電機で対応するのは災害本部、医務室、職員室の3部屋である。

問 災害対策に重点を置くなら、発電設備の規模が小さいのでは。

答 空調設備工事と併せて、災害時にも使用できるように今できる範囲で設置する。

■議決結果

賛成多数で原案可決



▲沼島小学校

ふるさと納税

特例控除の見直し
(令和元年6月から)
市税条例の一部改正

■議案内容

個人の住民税について、ふるさと納税に係る特例控除額の措置対象を、総務大臣が指定する特例控除対象寄附金とするもの。

■主な質疑

問 この改正はどのような

ものか。

答 ふるさと納税とは応援したい自治体へ寄付をし、その寄附金から一定額をひいた額が税金から控除される制度である。

今回の改正は、特例控除額の対象を総務大臣が指定するものである。特例控除

議会基本条例の取り組みと検証及び改正について先進地調査

議会運営委員会

▼調査項目（7月2日～4日）

- ・議会改革の取り組み
- ・議会基本条例の検証及び改正
- ・政策討論会の設置と運用 等

●福岡県大牟田市議会

議会基本条例の検証について、大牟田市議会では議会の機能の充実、強化に向けて様々な取り組みを行い、29年度に一定の前進ができたと思い、次に検証する必要があるとのことで検証作業を行った。現時点で議会基本条例の改正は必要ないとのことであった。

●佐賀県嬉野市議会

政策討論会について、各常任委員会で検討した政策提案を政策討論会で「政策提言書」に取りまとめ、執行機関に政策提言をしている。また、新たな条例について、政策討論会から2つの条例案を提出、可決している。

●福岡県春日市議会

住民対話を重視し、アンケート調査と広報活動の充実を図っている。

▼調査後の取り組みについて

今回の調査結果を踏まえ、議会運営委員会では、議会基本条例施行から丸6年が過ぎたので、検証と評価をする必要があり、今後の取り組みとし、改正が必要であれば改正していく。また、政策討論会については、南あわじ市議会では会派制を取っている。会派の政策討論で、会派代表者会などでの政策討論が必要となる。



▲議会基本条例の検証及び改正について調査（春日市議会）

議場コンサート及び意見交換会の先進地調査

議会広報広聴常任委員会

▼調査項目（7月9日～10日）

- ・議場コンサート
- ・グループワーク形式の意見交換会

●三重県名張市議会

第1回議場コンサートを平成28年3月定例会にて開催以来、現在まで計13回、定例会ごとに開催している。継続して実施することが重要で、市民にとって議場を身近に感じる良い機会となっているとのことであった。

●三重県鳥羽市議会

従来開催していた議会報告会のあり方を見直し、グループワーク形式の意見交換会のみを行っているとのことであった。

各種団体から申し込みをいただき、団体が抱える課題を共有し、ともに解決策を見出すという目新しい取り組みであった。



▲グループワーク形式の意見交換会について調査（鳥羽市議会）

プログラミング教育・ふるさと納税などの先進地を管外調査

総務文教常任委員会

▼調査項目

- ・プログラミング教育
- ・ふるさと納税
- ・公共施設マネジメント
- ・災害対策

（5月8日～10日）

減できた方法等について資産経営課より説明を受け、意見交換や質疑応答を行った。

●静岡県富士市

災害対策の取り組み状況について、防災危機管理課より説明を受けた。

特にユニークな先進的取り組みとして、災害時トイレ型トイレの導入の経緯や導入後の効果等について調査を行った。



▲人型ロボットを活用した教育について調査（一宮市議会）

●静岡県焼津市

ふるさと納税の寄付額が平成27年度に全国第2位、28年度は3位になった工夫等について、ふるさと納税課より説明を受けた。

また、公共施設マネジメント最適化の取り組みによって、平成25年度からの6年間で、将来費用が69億円削減し、意見交換を行った。

委員会の活動報告

認知症高齢者支援・着地型観光などの先進地を管外調査

産業厚生常任委員会

▼調査項目

- ・認知症高齢者支援
- ・着地型観光

（5月22日～24日）

行方不明者の発見につながった件数は少ないが、シール配布は認知症高齢者の家族にとって、大きな安心につながっているとのことだった。

●愛知県阿久比町

認知症高齢者支援事業である「おかえりサポート事業」に登録した高齢者に対し、靴に貼るおかえりサポートシールを配布。

シールにより困っているときに声掛けや通報など、周囲から手助けを得られる。ただ、認知症であることを知られたくないという人も多く、登録者数が少ない事が課題であるとのことだった。



▲おかえりサポートシール



▲認知症高齢者支援について調査（茨木市議会）

●三重県伊賀市

伊賀市では、伊賀にある人・技・物が体験できる着地型観光プログラムを100以上とりそろえている。プログラムの提供者は民間の事業者で、提供者同士でコラボするなど新たな事業展開に結びついている。

民間が主体となって事業が広がっている点については、当市でも大いに参考にすべきだという意見があった。



第6回

議会でやってほしいこと。 市民にインタビュー

市民の声

南あわじ市消防団長 細川さん

南あわじ市消防団では日々仕事をしながら、市民の防災の為に訓練を重ねています。今年から広域消防の皆様と協力し操法技術の底上げの訓練をしてきました。今後は救命講習などの訓練もしたいと考えています。

また小型ポンプの耐用年数が20年というのは長すぎる。地域によっては10年～15年で経年劣化してしまうのでこの辺りを見直していただきたい。

消防団員は自分の身は自分で守る意識を持って消防活動に取り組んでいただきたい。



淡路広域消防事務組合 消防長 日比野さん

南あわじ市は操法訓練を全国大会がない年も毎年やっていて、消防団の意識が高いと感じている。

いざというときは消防団のバックアップが必要になります。

今後も防災に向けた訓練を絶やさないよう続けていきたいと感じています。



神代第3分団小型の部 山崎さん

今日まで選手や団員それぞれが仕事の合間を縫って訓練を重ねてきました。今日は目標タイムの52秒を超えたいと思います。

また練習量が多いことからポンプや装備の劣化が激しいです。いざというときの為に老朽化対策はしっかり行っていきたいと思います。



なでしこ分団長 小南さん

なでしこ分団は家庭や仕事をもっている女性を中心に、女性だからそのやり方で市民の防災意識を高めるお手伝いをしています。

今後はもっと子供たちに防災のことを伝えることができる活動を広めていきたいと思います。



第5回 子ども議会を開催します

日時：令和元年 **8月8日(木)**
午後2時～4時30分

場所：南あわじ市議会 議場
(南あわじ市役所本館4階)

市内各小学校の代表16名が子ども議員となり、まちづくりについてクラスで話し合った内容を市議会議員へ質問します。

子どもたちの質問を聞いてみませんか？
ぜひ傍聴にお越しください

避難路整備

観光戦略

移動販売

高齢者特区

歩行者天国

～今年もいろんなテーマが集まりました～



▲昨年の子どもの議会の集合写真

編集後記

いつもお読みいただきありがとうございます。

議会の初めての試みとして、淡路三原高校生徒会の皆さんと意見交換会を行い冒頭の特集記事としました。

その中で、市や議会に取り上げていることもたくさん出てきて、高校生の皆さんの関心ごとが市民生活の関心ごとや困りごとにつながっているんだなと思ひ、大変有意義な時間を過ごしました。

議会としても、出来るだけ市民の皆さんとお話ができる機会を持ちたいと考えています。街角で議員に出会いましたら、気軽に話しかけていただければと思います。
(久米)

議会広報広聴常任委員会

太田 康文 北条志津子
久米 啓右 谷口 博文
吉田 良子 土井 巧